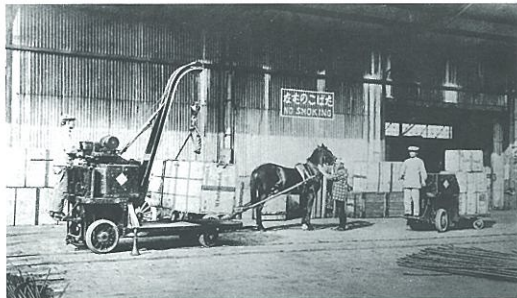


第1突堤（現在の第4突堤）の客船連絡列車（昭和初期）

大正13年8月3日から、欧州航路客船に連絡し、神戸港～京都間に船車連絡列車が運転された。



電動起重機運搬車（左）と貨台昇降式電動運搬車（右）（大10）

神戸港第1期修築工事の関連設備として導入し、雜貨荷役で使用された。現在のフォークリフトに当たるもので、動力はバッテリーである。



雜貨の解積作業（大正後期）

岸壁と船の間に歩み板を渡し、貨物をすべらせて解積した。左上鳥打帽子の人はタリマンで、積込貨物の個数、マーク、包装状態を確認している。



バナナの荷役風景（昭和11）

我が国の輸入バナナは戦前から主に神戸港で取扱っている。台湾産が大半を占めていた。



輸出生糸船積状況（昭和初期）

大正12年9月の関東大震災は、それまで横浜港の独占的輸出品であった生糸を神戸港にもたらし、同年には絹織物、絹織物に次ぐ輸出額となった。